

子供たちの夢が自由な飛躍を見せる オンリーウォッチ・オークション参加の HM4 最新作

MB&F (マキシミアン・ブッサー&フレンズ) は、今年も感動的な最新作を携えてチャリティオークション《オンリーウォッチ》に参加する。今回は中国人芸術家黄含康 (Huang Hankang) とのコラボレーションである。最新作 HM4 オンリーウォッチは、空を飛ぶミニチュアのパンダをフィーチャーしており、子供たちの夢と最先端の高級時計製作技術を魔術的に統合したタイムピースといえよう。

わたしたちは、子供時代だけでなく、一生を通じて夢を見る。だが大きくなってからはあまり見ない、子供時代特有の夢がある。「自由に空を飛ぶ」という夢がそれだ。思春期になるとこの「空を飛ぶ夢」を見る回数が減っていくのは、なぜだかよく判っていない。成長すると、現実世界によりしっかりと組込まれるため、想像力が制約を受ける、ということが原因かもしれない。デュシェンヌ型筋ジストロフィー (DMD) に罹った子供たちは、次第に筋力低下が進行し、歩行不能となる。この病気に罹った子供たちは、身体が動かせないかもしれないが、夢と想像の世界で、自由に精神を羽ばたかせることができる。最新作 HM4 オンリーウォッチは、子供たちに、自由に飛び回れる想像の世界、楽しさ、微笑を与えようとするものである。それは時と空間を超えた、冒険心にあふれる旅への招待なのだ。

MB&F の最新作 HM4 オンリーウォッチは、可愛いパンダが、スペースエイジのジェット機のようなユニークピース、HM4 を操縦するという、わたしたちを夢と空想の世界に誘うタイムピースである。MB&F 創業者のマキシミアン・ブッサーは数年前、あるアートギャラリーで、ロケットに乗って飛ぶパンダを描いた絵を見つけた。精神の高揚を覚えた彼は、その絵を購入した。作者は、パリで活躍する中国人芸術家黄含康 (Huang Hankang) だった。最新作 HM4 オンリーウォッチでは、タイムピースをキャンバスに見立て、黄含康の子供時代の夢が自由な飛躍を見せる。

MB&F の HM4 オンリーウォッチ・プロジェクトへのコラボレーションを求められた黄含康は、HM4 サンダーボルトを一瞥して快諾した。芸術作品の媒体としては、これまで見たこともなければ、想像したこともないオブジェではあるが、チャレンジが彼の興味を惹いたのである。黄含康は、無邪気なパンダが HM4 の上を自由飛行している様子を描写した水彩画を創作、MB&F はこれをタイムピースとして表現する作業を開始した。黄含康によるオリジナル水彩画は、HM4 オンリーウォッチに同梱される。

黄含康「わたしは MB&F の作品をタイムピースというよりは芸術作品と見ています。自由奔放な想像力の産物であり、その点では私の作品と同じです。」

HM4 オンリーウォッチは、HM4 ジェットの上にソリッドゴールドのパンダが乗るという、夢の世界を表現している。パンダは、微細なゴールドの線を撚ってつくったロープを手綱のように使って HM4 を操縦している。パンダは手彫りの像から《ロストワックス》の方法で型をとり、18K ホワイトゴールドで鑄造したものである。HM4 オンリーウォッチは子供たちの空想と夢へのオマージュである。しかし時々地上に降りて現実と直面せざるを得ない大人たちのことを考え、パンダと手綱は、精密な機構により完全に着脱が可能となっている。これにより HM4 はフライングマシーンにもオロロジカル・マシンにも変身できるというわけである。

MB&F は、アメリカ人芸術家セージ・ヴォーンとのコラボレーションにより、オンリーウォッチ 2009 に参加、強い感情あふれるタイムピースを発表した。HM4 オンリーウォッチ 2011 は、「芸術と時計製作をシームレスにブレンドする」というこの方向性を継続するものである。

詳細についてはこちらまでお問い合わせください:

Charris Yadigaroglou (MB&F SA, Rue Verdaine 11, CH-1204 Genève, Switzerland)

Eメール: cy@mbandf.com 電話: +41 22 508 10 33

オンリーウォッチ 2011

HM4 オンリーウォッチ 2011 は、デュシェンヌ型筋ジストロフィーの治療研究を支援するためのチャリティオークション《オンリーウォッチ》に出品される。《オンリーウォッチ》は2年毎に開催され、スイス時計業界の首脳が一堂に会するイベントとなっている。今年は、モナコ公国アルベール2世公の後援により、2011年9月23日にモナコで開催される。

マキシミアン・ブッサー、MB&F、オンリーウォッチ

マキシミアン・ブッサーは、モナコ筋ジストロフィー防止協会（AMM）会長リュック・ペタヴィーノと会った時、すぐに《オンリーウォッチ》への参加を決意した。マキシミアン・ブッサー「私の年齢で重病に罹っても、もう十分生きたのだからと諦めもつくでしょう。しかし未来のある子供たちにとってこの病気がいかに悲劇であるか、ということです。」

マキシミアン・ブッサーは、この病気に罹った子供たちの苦しみ分かるなどと偉そうなことは言わない。しかし子供時代はかけがえのないものであると思う。彼が丹精込めて創作するタイムマシンたちには、その高度な外観にもかかわらず、彼の幼年時代の思い出がルーツとして込められているのである。

マキシミアン・ブッサーは、父親を亡くした時、「現実の鎖」から解き放たれ、想像と創作の精神が自由な飛躍を始めたという。「人間の生命に限りがあることを知るのは、子供が生まれた時と、親が死んだ時です。」と彼は言う。この体験を機に、ハリー・ウィンストン時計部門ディレクターという、彼自身が「夢のような仕事」と形容するポストを退き、MB&F（マキシミアン・ブッサー&フレンズ）を創業した。才能あるプロフェッショナルたちと共に、少量製作のコンセプトウォッチのみをデザインし製作する実験工房である。「頭ではなくハートに語らせる」ことがその目的であった。

筋ジストロフィーから子供たちを守る闘い

デュシェンヌ型筋ジストロフィーは3,500人に1人の割合で男児に発症する重大な遺伝病である。筋肉が徐々に弱くなる進行性の病気で、子供の成長とともに呼吸器や循環器の障害から致命的となる。ヨーロッパだけでも約3万人の患者がいる。

現在まで治療法は確立されていないが、近年一定の進歩も見られる。最も大きなもののひとつは、ソー・デクソン法と呼ばれる外科治療法である。これは細胞機能が、異常をつかさどる遺伝子を読み取らないようにする方法である。フランス国立科学研究センター（CNRS）のリュイス・ガルシア研究部長とそのチームにより開発された。フランス国立科学研究センターは、デュシェンヌ型筋ジストロフィー研究分野できわめて重要な役割を果たしており、モナコ筋ジストロフィー防止協会（AMM）の財政援助を受ける20の研究機関のひとつである。

黄含康（Huang Hankang）

1977年、中国蘇州に生まれた黄含康は7歳の時、絵画を始めた。芸術大学卒業後、パリに出てさらに美術を修め、世界情勢の習得や他文化の吸収に努めた。2007年、ニューヨーク、その後はヨーロッパでも作品展を開催、国際的に名を知られるようになった。

詳細についてはこちらまでお問い合わせください:

Charris Yadigaroglou (MB&F SA, Rue Verdaine 11, CH-1204 Genève, Switzerland)

Eメール: cy@mbandf.com 電話: +41 22 508 10 33

黄含康は、水彩画を主とし、その作品は、水彩の持つニュアンスに富んだデリケートな明色により、力強さと崇高さにあふれたメッセージを与えられている。黄含康の絵画作品は、決まり切った主張を行うのではなく、見る者に奥深い疑問を投げかける。多くの作品は、動物を通常とは異なる環境の中や姿勢で描いている。スペースシップのようなタイムピースを操縦して飛行するパンダは、彼の内なる哲学を表現する一貫したテーマに沿うものといえよう。

黄含康にとって芸術は、自身のメッセージを広範な人々に伝えるコミュニケーションの手段である。MB&F とのコラボレーションによるオンリーウォッチ・プロジェクトは、黄含康にとって、これまでにない「キャンバス」の上にメッセージを描くことを意味した。しかし彼は快諾した。なぜなら MB&F のオロロジカル・マシンは時計製作よりも芸術に近く、マキシミアン・ブッサーの豊かな想像力の産物であること、この点で彼自身の絵画作品と同じであることを理解したからである。

オロロジカル・マシン No. 4 サンダーボルト

インスピレーションと具現化：マキシミアン・ブッサーは子どものころ、模型飛行機づくりに夢中になり、自分の部屋の壁、戸棚、天井は模型飛行機だらけだった。夜寝つくまで目に入ってくるのは飛行機、朝目覚めて一番に目に入るのも飛行機だった。少年は大人になったが、子ども時代の思い出と飛行機への愛着は消えなかった。密やかに HM4 サンダーボルトの登場を待っていたのだ！

スーパーカーや高速飛行機をスケッチする少年は多いが、夢を追い求め、実現を誓う少年はまれだ。ブッサーは夢を実現したいがために MB&F を立ち上げた。HM4 サンダーボルトは少年の空想と大人の不屈の意志から生まれたのだ。

エンジン：HM4 のエンジンは、MB&F が《レ・アルティザン・オロロジエ》のローラン・ベッセ、ベランジャー・レイナル との 3 年間にわたる集中的な共同作業を経て設計・開発したものだ。311 個の部品はいずれもサンダーボルトのために開発されたもので、きわめて特殊な構造ゆえに、既成の装置や部品はひとつも使用されていない。

メインスプリングを格納した 2 つのバレルは並列に配置され、72 時間分の動力を供給する。その動力は、垂直ギアトレインを通してジェットタービンのような 2 つの表示ポッド（1 つは時／分を、もう 1 つはパワーリザーブを表示）に送りこまれる。

ケース表面のサファイア製ディスプレイパネルを通して見える流線型のコックがテンプを保持している。コックの中央部はカットされており、テンプを可能な限り見せ、「動く芸術」としての MB&F の動きがわかるように配慮されている。

芸術品は、違った角度から見ると、これまでにない意味をあらわにする。サンダーボルトも例外ではない。時計の裏面を見ていただきたい。細部まで手の込んだマイクロエンジニアリングの世界がサファイア製ディスプレイパネルを通して浮かび上がる。一見すると MB&F を象徴するバトルアックス型のマイクロローターに見えるものが、実はブリッジなのだ。遊び心のある「だまし絵」になっているのである。

文字盤：オロロジカル・マシン No. 4 は時間の表示を特に開発の目的とした時計ではないが、その機能もみごとに果たしている。実際、HM4 を腕につけると、とても見やすい文字盤が腕と垂直に位置し、パイロットやドライバーに最適な腕時計といえる。

左側のポッドには、MB&F のバトルアックスをモチーフにしたスケルトン仕様の針がパワーリザーブ量をはっきり示す。右側には時／分が表示され、その針は太く、先端が矢印型でスーパールミノバが使われている。航空機の計器に似た 2 つの文字盤は、各々専用のリユーズで直接調整される。一方はゼンマイを巻き上げ、他方は時刻を調整するが、リユーズの回転は瞬時に直接、表示を動かす。

ケース：航空機、もっと正確に言えば、マキシミアン・ブッサーが子ども時代につくった模型飛行機から発想された HM4 のケースは、スピード、パワー、テクノロジー、精巧さが同等に感じられる。形態的にはケースは 3 つの部分からなっている。2 つのジェットタービン型の流線型のポッドと、これらを支えるエンジンを収納した水平部分である。内部のエンジンは、表裏面のサファイア製ディスプレイパネルと、ケースのサファイア製中間部を通してはっきり見ることができる。

詳細についてはこちらまでお問い合わせください：

Charris Yadigaroglou (MB&F SA, Rue Verdaine 11, CH-1204 Genève, Switzerland)

Eメール: cy@mbandf.com 電話: +41 22 508 10 33

技術的にも 3 つの部分からできている。まずチタン製の前部。文字盤と可動式フロントラグからなっている。次にサファイア製中間部。みごとな仕上げのエンジンを 360 度の方向から見る事ができる。これは前代未聞のことだ。最後に 2 つのリューズに向かって細くなっている後部。サファイア製ディスプレイパネルを通して、流線型のコックと、これが保持している往復回転するテンプが見える。航空工学から借用した手法は、外側に取り付けられたネジに見てとれる。それによって時計の剛性と強度が増し、ケースの 3 つの部分をしかりと、しかもエレガントに支えている。

ケースのサファイア製中間部は、ただひとつのサファイアから切り出されている。不透明なサファイアの大きな塊から、陽光を取り入れるアトリウムのような透明なサファイア製中間部をつくり出すには、100 時間を超える複雑な機械加工と細密な研磨が必要だ。サンダーボルトのエンジンとエンジニアリングの細部は、このサファイア製中間部を通して見る事ができるのだ。

ケースの金属部分は、ハイテク・グレード 5 チタンの固いブロックを精密研削してつくる。数百時間にわたる機械加工後にポリッシュ仕上げ、滑らかな仕上げ、そして最後にサテン仕上げを行なう。その見事さはコメントの必要もないだろう。

サテン仕上げと鏡のようなポリッシュ仕上げ、チタンとサファイア、直線と優雅な曲線、固定された部分と可動式の部分。これらすべてのコントラストが、オロロジカル・マシン No. 4 に生命と活力を吹き込み、これまで存在したいたかなるタイムピースとも異なる作品としているのである。

究極のマシン HM4 サンダーボルトは、三次元の動く芸術である。

HM4 オンリーウォッチ 技術仕様**特 徴：**

着脱可能な 18K ゴールド製パンダおよび手綱を載せたオロロジカル・マシン No. 4。サファイア製ディスプレイパネルにアーティスト黄含康の署名入り。

ケース：

グレード 5 チタンおよびサファイア ケース
着脱可能な 18K ゴールド製パンダおよび手綱
寸法（パンダを除く）：54 mm x 52 mm x 24 mm
部品数：65
可動式ラグの可動角度：3 度

機 能：

時、分、パワーリザーブ表示
時間および分表示を右の文字盤、パワーリザーブ表示を左の文字盤に配置
時刻調整用リユーズ、巻き上げ用リユーズ

エンジン：

100%MB&F 開発の 3 次元オロロジカルエンジン
2 つの手巻きメインスプリング・バレル（並列）
パワーリザーブ：72 時間
テンブ振動数：21,600 振動/時（3 Hz）
部品数：311
石数：50

サファイアクリスタル：

サファイアクリスタル 5：2 つの文字盤、1 つのサファイア製中間部、2 つのサファイア製ディスプレイパネル（ケース表面、ケース裏面）

ストラップおよび留め金：

黒の手縫いのカーフストラップ、可動式ラグ、カスタムデザインのチタン／ホワイトゴールド製折り畳み式バックル

オリジナル・デッサン：

HM4 オンリーウォッチには、オロロジカル・マシン No. 4 に込められたメッセージを伝えるため、アーティスト黄含康が描いたオリジナル水彩画が付属しています。